

オオタバコガ情報第2号（ダイズ、野菜類、花き類）

令和7年8月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病虫害防除室

ほ場での発生状況に注意し、発生を確認したら防除しましょう！

7月2日発表の令和7年度病虫害発生予察注意報第3号で、オオタバコガの予想発生量が多いと発表しましたが、引き続きフェロモントラップでの誘殺数が多い状況です。

1 フェロモントラップにおける誘殺状況

県内8地点（※）に設置したフェロモントラップのうち、5地点で直近1か月の総誘殺数が多い～やや多い状況です（図）。（※ 7月現在調査中のトラップ地点）

- ・安城市（ダイズほ場）では188頭（平年44頭、前年6頭）と過去10年間と比較して最も多い。
- ・豊田市（ダイズほ場）では181頭（平年132頭、前年128頭）と過去10年間と比較して2番目に多い。
- ・西尾市（ダイズほ場）では263頭（平年168頭、前年353頭）と過去10年間と比較して3番目に多い。
- ・稲沢市（キクほ場）では227頭（平年97頭、前年99頭）と過去10年間と比較して2番目に多い。
- ・長久手市（農総試内）では12頭（平年1頭、前年0頭）と過去10年間と比較して最も多い。

2 今後の予測

7月31日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高いと見込まれています。本種の増殖に適する天候が予想されるため、**発生量が多い状況が今後も続く可能性**があります。

3 本種による被害と防除対策

- （1）茎、花蕾、果実及びキャベツ等の結球部に食入した幼虫や、発育が進んだ幼虫には薬剤の効果が著しく低下するため、若齢幼虫のうちに薬剤防除しましょう。

参考：農林水産省農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp/>)

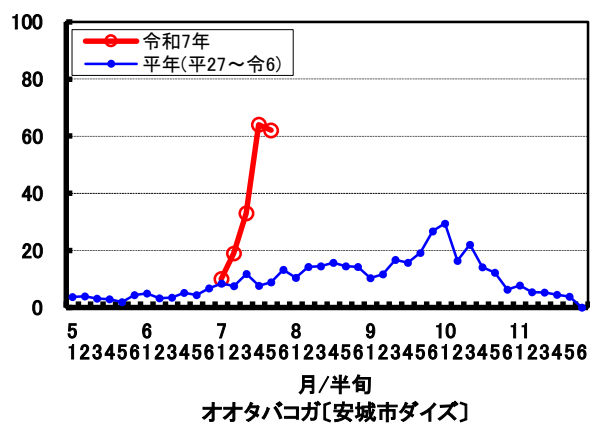
- （2）ダイズにおける本種による被害は、ハスモンヨトウのように幼虫が集団で葉を食害せず白変葉にならないため、ほ場外からの観察で発生を確認することは困難です。また、直接、莢を加害することから、被害が大きくなります。**ダイズでは産卵が多い開花期までの防除が重要です。**

- （3）キクでは着蕾後に被害を受けると商品価値が著しく低下するため、**着蕾以降は特に注意しましょう。**

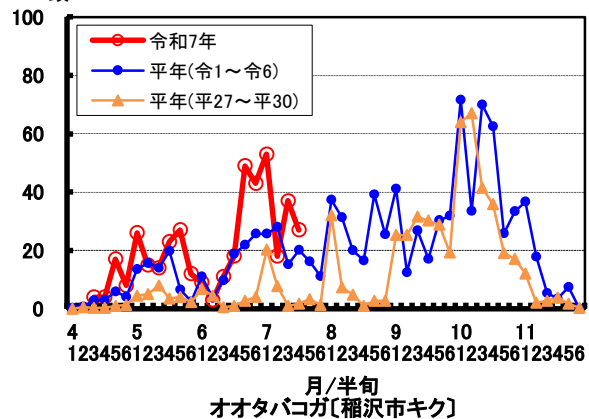
- （4）被害部位の残渣は、卵や幼虫が付着している可能性があるため、放置せず適切に処分しましょう。

- （5）施設栽培では、開口部に防虫ネットを張り成虫の侵入を防ぎましょう。

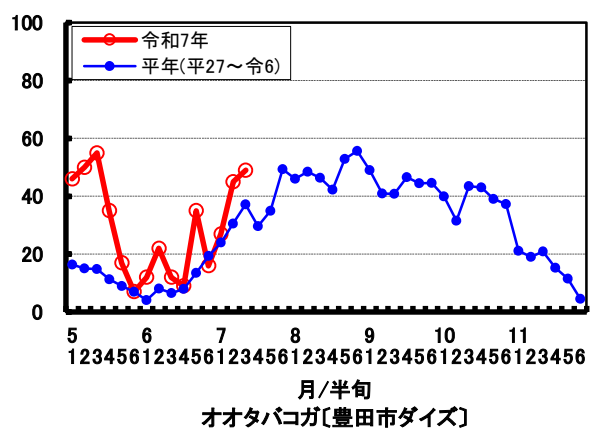
頭



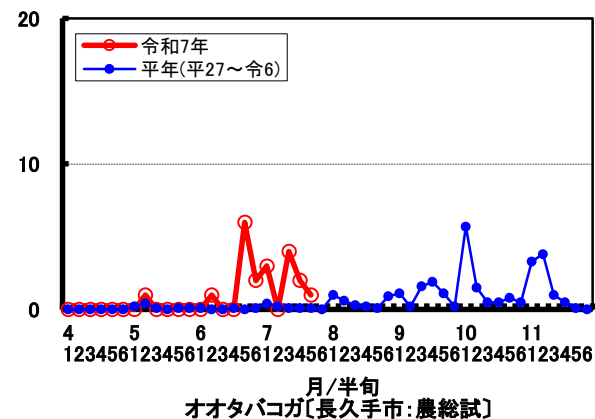
頭



頭



頭



頭

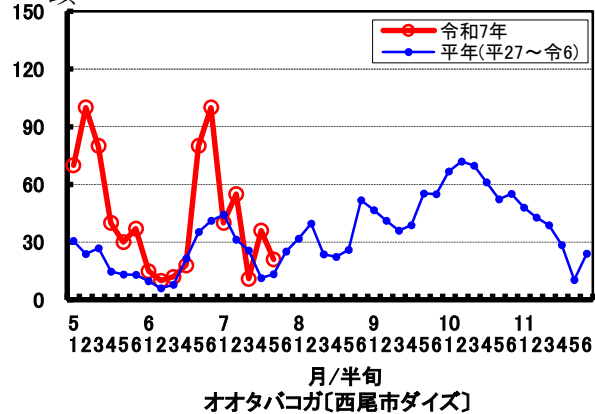


図 フェロモントラップにおける誘殺状況